

モリアオガエル



モリアオガエルのオスとメスが、泡に包まれて卵を産んでいます。いったいどんなカエルなのでしょう？



生活

もり き うえ く からだが かわ
森の木の上で暮らしているよ。からだがか
しまわないように、ひる ま たいよう ひかり あ
昼間は太陽の光が当たらない枝のかげや、
き 木にあいた穴の中でじっとして、よる あめ ひ うご
夜や雨の日に動きまわるんだ。



大きさ

オスは約4cm～6cm、
メスは約6cm～8cm
くらい。メスの方が大
きくなるよ。



モリアオガエル



しゃしん しゅってん
写真の 出展

『しぜん しゃしん えほん カメ・ザリガニ・カエルなど』



鳴き声

カララ・カララ…、コロコロ、
クックク、と鳴くよ。そんな声が
聴こえてきたら、近くにモリアオ
ガエルが隠れて
いるかも？



産卵

5月～7月ころになると池や
沼までやってきて、水面の上に突き出した
木の枝などに、泡に包まれた卵を産むんだ。



食べもの

昆虫やクモなど、
大きめの虫を食べるよ。





モリアオガエルがつくる不思議な泡のしくみを見てみましょう！ 

 メスが卵を産むときに出すぬるぬるした液を、オスと一緒にうしろ脚でかき混ぜていくと10cm~15cmくらいの泡ができあがります。中には、うす黄色の卵が300~800個ほど入っています。泡の外側はしばらくすると固まってしましますが、中は湿ったままで、幼生（おたまじゃくし）が生まれるまで、卵が乾いたり冷えたりしないように守る役割をしています。



 モリアオガエルの卵は約1週間で幼生へと成長します。その後、雨や幼生が出す成分などによって、一度固まった表面が溶けたすと、溶けた泡と一緒に中の幼生たちも枝の下にある水の中へと落ちていくのです。



日本にしかすんでいない日本固有種のモリアオガエル。その一部は、繁殖地【※1】とあわせて国や県が指定する天然記念物になっています。岩手県内でも、八幡平市の大揚沼のモリアオガエルとその繁殖地が国の天然記念物に、雫石町の白沼【※2】のモリアオガエル繁殖地が岩手県の天然記念物に指定され、大切に守られているのよ！



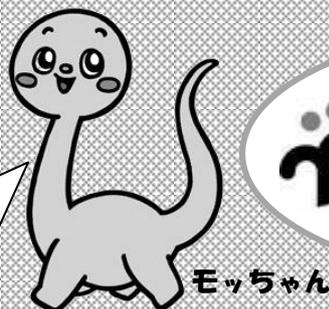
【※1】いきものが卵や赤ちゃんを産んだり、子育てをしたりする場所だよ。

【※2】雫石町のあたりで暮らす人たちからは「しらぬま」とも呼ばれているよ。



参考 『改訂版日本カエル図鑑』 前田憲男・松井正文 1999年/
『モリアオガエル（科学のアルバム）』 増田眞樹 2005年 他

来月（6月）の
けんぱくものしりシートは
体験学習室—14だよ！
おたのしみに！



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>